授業科目名・形態	健康教育論・講義	必修・選択の別	必修	単位数	２単位
科目担当者氏名	川村泰子	実務経験の有無	有・無	開講期	２年前期
科目ナンバリング	N6-2015npmht				

【授業の主題】

健康教育は地域で暮らす人々の健康と生活を支援するための方法としての健康教育について基本となる理念・理論と展開方法を学修する。健康教育を展開するための基本的な技術を習得する。

【到達目標】

1. 集団を対象に展開する健康教育の考え方を理解できる
2. 健康な人々を対象とした健康教育の展開方法と技術を理解できる
3. 集団を対象とした健康教育を展開できる。
4. 健康教育の目標を達成できるような教育媒体を作成できる。

【授業計画・内容】

1. 健康教育とヘルスプロモーション
2. 健康教育の理念・変遷・方法論を学ぶ
3. 健康教育の基礎理論（1）
4. 健康教育の基礎理論（2）
5. 健康教育の方法と特徴
6. 健康教育の評価と終了後の支援
7. 健康教育の方法と実際（1）（健康教育の企画書・指導案）
8. 健康教育の方法と実際（2）（健康教育の教材）

9.～14 健康教育の実施

15. まとめ

【授業実施方法】

講義、演習

６回目以降は健康教育の展開するためにグループでディスカッションしながら指導案・媒体を作成し、学生を対象に実践します。（グループワーク・プレゼンテーション・ディスカッション）

【事前・事後学習】

事前に教科書を読み授業で理解を深めることができいるように事前学習を進めることが大事です。また、配布された資料はよく読み実践するための準備に活かしてください。これまで学習してきた看護の知識が土台になるので、必要に応じて復習しグループワークに臨んでください。（事前・事後学習毎回２時間以上）

【主な関連する科目】

「公衆衛生看護学概論」「看護専門科目」

【教科書等】

保健学講座　公衆衛生看護支援技術、メヂカルフレンド社

【参考文献】

随時、資料の配布や参考図書を紹介する

【成績評価方法】

1）2/3 以上の出席者につき授業の参加状況、リフレクションペーパー、演習、定期試験から総合的に評価する。
2）リフレクションペーパーをすべての授業終了後に提出するっことで５点を加算する。
3）演習内容・提出課題（35%），定期試験（60%）により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

教員自身の実務経験で得た体験や事例を紹介しながら講義を進めていきます。

【学生へのメッセージ】

健やかな生活は誰しもが願うことです。それを実現するために看護職が果たせる役割があります。授業で学んだことを日ごろの学習や社会活動に活かすことが大事です。ともに学びたいと思います。